

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号, 法人名, 事業所名, 所在地, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日. Contains details for 0172902371, 有限会社 パリーツウドウ, グループホーム プランタンIV 1F, 旭川市2条通16丁目500番地の2.

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/01/index.php?action=kouhyou_detail_022_kihon=true&JigyosyoCd=0172902371-00&ServiceCd=320

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 3 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日. Contains 特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット, 札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401, 令和元年11月19日.

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

旭川市の中心部近くで、近所に昔ながらの銀座商店街や多数の病院がある地区に位置するRC2階建ての2ユニット(定員18名)のグループホームです。安心して利用できる料金設定と、併設している整骨院の無料施術サービスが週1回受けられます。また、交通の便がとてよく、自家用車をお持ちでない方でも気軽に来訪できるのも魅力の一つです。また、こちらの地域は町内会の解散があったものの、なんとか地域に貢献をしたく、当グループホームのごみステーションを地域の方々にも使用していただき交流を図っております。職員のスキルアップでは社内研修を年数回行っており、介護の知識の獲得へと努めております。

社内研修は毎月、様々な内容で行い、介護知識の獲得へと努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当事業所は市内中心部に近い一角にあり、地域は数年前に町内会が解散した程の住民減少の地区で、商業化も都心化も住宅地域としてももう一歩で、今後の課題とした環境下に立地している。建物は堅牢なコンクリート製の2階建て、各階に1ユニットが入り、計18人の高齢者が生活している。当事業所の優秀な点の1番目は、職員研修に動画を活用し、介護手順を再確認することで、質の高い統一的な介護に取り組んでいる点を挙げたい。外国人留学生向けに試みられた各作業手順の動画は、すべて事業所内で行われ、シーツ交換、トイレ掃除、入浴支援、食事介助等々の各介護場面を職員で再現し、演じる職員と確認する職員の両者に共有と反省点、再確認等を生じさせ、結果として良質なサービス向上に結実している。大手事業者の手順DVDと違い、職場仲間が自分たちの職場で演じる有効性を高く評価したい。次に当事業所の費用面に触れてみたい。ホームの月額利用料は室代や食費、光熱費合わせて自己負担が7万前後(令和元年現在)と低料金で、社会貢献を目指す当法人の本気度・真剣度が充分に表された金額となっている。また研修にも手厚いなど、利用者本位の介護を職員の育成・養成から取り組んでいる当事業所の今後に大いに期待したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印), 項目, 取り組みの成果 (該当するものに○印). Contains 10 rows of evaluation items (No. 56-62) regarding user satisfaction, staff support, and safety.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	いつでも確認出来るように提示で周知・ミーティング等で確認しています。日々の生活の中で実践できる様心がけている。	3項目からなるケア理念を居間の入口に掲示し、またホームページにも掲載して、利用者、家族、職員や関係者に示し、実践に活かせるよう取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩や近隣での外出・買い物・当事業所のゴミステーションの共有で地域の方との交流を計っています。	地元町内会が解散するような住民減少傾向にある地域であるが、事業所のゴミステーションを開放するなど地域の一員として交流を促進し、日常的な触れ合を大切にすることを維持・継続している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議には民生委員の方や以前勧めていた方も出席頂いています。近隣の独居のお年寄りの方との交流等も包括・民生委員の方と連携しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	最低2カ月に1度は開催し、利用者様、家族様、地区包括、病院、薬局の方、民生委員、近隣の方等の参加を頂いて活動報告・ヒヤリハット等の報告でご意見を頂いています。	利用者や家族、近隣住民、包括、薬局、医院、民生委等々、多彩な出席者により運営推進会議は開催されており、行事内容を始め事故やヒヤリハットの報告も行われ、開かれた事業所としてサービス向上に繋げている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センター・保護課の職員様との連携を密にして、協力できる事は行い分からない事は相談できるよう、利用者様の生活向上に努めています。	行政とは介護保険の疑似解釈や生活保護の運用について窓口や電話で指導を受けており、情報交換を含め信頼できる関係性を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	月1回職員ミーティングで身体拘束廃止委員会を開催しています。それぞれの利用者様に合わせて、立ち上がる際や、起きる時、寝返りを打つ時、リハビリ運動、速やかな見守り対応が出来る様、努めています。	身体拘束廃止委員会を設置し、毎月1回開催しながら、利用者の動きや運動について検討している。また議事内容について、直近の会議や申し送りでも周知し、抑制も拘束も無縁な介護に取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	外部研修、職員ミーティングで知識を高め防止に努めている。年に2回は虐待の防止をテーマに取り組み、職員のストレス軽減に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の参加の継続と司法書士との連携で各職員のスキルアップに努めている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	解りやすい説明に配慮し、疑問点や相談は都度対応し理解頂けるよう努めています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の活用と共に、面会時又はお手紙等で、家族様とのコミュニケーションを大切にしております。	個人向けのお便りを写真同封で毎月発行し、日々の利用者の様子を伝え、家族から好評を得ている。外部機関でのサービス満足度アンケート調査の実施や玄関に設置した意見箱等で苦情や要望を受けている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員同士が業務を通じて抱えている疑問点、提案等の情報は毎日の申し送り・連絡ノート・ミーティングを通じ、共有に努めています。	毎月の会議や申し送り時に、職員からの意見や提案、工夫、アイデア等を聞き取り、また必要時には個人面談も実施し、意欲ある意見が反映できるように努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	様々な手当、時には評価により昇給等に配慮されています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内外の研修に参加と自らスキルアップが出来る様、一人ひとり自身の目標を持ち、向上に努めています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部研修会には交代で参加出来ています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めています。	アセスメントを基に本人様・家族様の情報から安心して生活できるよう配慮し、納得された生活が継続される様、職員との信頼関係の構築に努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様のお話を傾聴し、ご利用者様が安心して生活が出来る様、相互の思いや考え方に理解を深め、ケアの共有に努め家族様との信頼関係を築ける様努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人様、家族様の見学から始まり、しっかりと傾聴出来る環境を目指し、必要な支援が出来るよう努めています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様の意向を確認し気持ちに寄り添い共感し受け止め職員との信頼関係に努めています。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時・月末の通信等でご利用者様の近況報告をさせて頂き、面会のしやすい環境を目指し、家族様と職員の信頼関係の構築で、疎遠防止に努めています。遠方の家族様には電話での関わりにも努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会が途切れない様に、関係の継続に配慮し安心して面会が出来る様、場所・時間の提供に努め笑顔で対応出来る様努めています。	昔馴染みの友人や景色、味などを大切に考え、途切れないように努めている。理美容店や墓参り、初詣や温泉の利用も、家族の協力を得ながら支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人一人の精神的な病気・性格等に配慮し、周りの状況を見極め、日課の中での関わりで、行事で、利用者同士の交流支援に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も経過把握やご家族様からの相談も受け付け、関係性を大切にしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の気持ちに配慮し、ご家族様と密に相談しながら、ご本人の意向に沿えるよう対応に努めています。	生活を支える中で、希望や思いを理解して意向に沿えるように努めている。意思疎通が苦手や困難な場合でも、仕草や表情から、また本人の職歴や生活史から、本人本位の生活になるように支援している。	本人の思いを把握、共有して介護に臨んでいる姿勢に敬意を表したい。今後は、本人は最後の時間をどこでどのように過ごしたいのか等々、エンディングの具体的な思いを聞き取り・記録し、より本人本位の介護となるように期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日常の会話から見られる気持ちなどの情報は記録に残し共有し、アセスメント等の共有と把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の関わりの中から身体・生活面に於いて変化に配慮し、記録等、情報の共有に努め24時間体制の把握に努めています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	現状のケアのあり方についてモニタリング・サービス担当者会議等で、自由に意見の出し合いが出来、プランの作成に努めています。	介護計画はケア会議で検討し、モニタリングやカンファレンスを繰り返しながら、本人の特性に沿った計画を作成している。病気や体調の変化がある場合は、変更を検討し、現実に応じた介護計画になるように努めている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	様々な情報・記録を共有しながらプランの見直しに活用しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人に合わせて柔軟に支援出来る様、取り組む姿勢に努めています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日々生活の中でその方に合った支援を可能な限り模索し対応致します。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居と同時にかかりつけ医と事業所の関係を築き、往診・受診・相談等連携を図っています。救急の場合にも利用者様、家族様が安心して医療が受けられるよう支援しています。	かかりつけ医は本人家族の意向を尊重しながら決めており、関係性を築きながら安心できる体制を敷いている。看取り介護では往診も考慮しながら検討している。また同事業所の1階では、週に一度無料のマッサージも提供され、適切な医療体制で臨んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	些細な情報も看護職員と連絡を密に取り、情報の共有に努めて、相談等連携を図っています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	スムーズな退院対応出来る様、日頃から担当Dr・看護師と連携を図り、病院・家族様との信頼関係の構築に努めています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいます。	入居時に意見確認書等、書面にて確認し重度化してきた場合には担当Dr・家族様と話し合いが出来る環境を目指し対応しています。	見学时や契約時に看取りの指針を説明し同意を得ており、本人・家族の希望があれば最期まで寄り添い、医療と家族と常時検証しながら、適切な介護となるように努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルは、常に更新が出来る様に閲覧できる場所に備え、全職員が情報の共有で繰り返しの研修が出来る様努めています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	訓練は設備業者の指示のもと、夜間・昼間、様々な想定で全職員が繰り返しの訓練に取り組んでいます。運営推進会議時の議題にも取り組み対応しています。	年2回の避難訓練を地域の協力を得ながら実施し、避難先には母体法人の活用も視野に実現可能な避難を検討している。冬季の暖房装置の石油ストーブも別途に数台用意し、不意の災害に備えている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人それぞれの体調に合わせ、その方の心に寄り添い、合わせた対応を心がけています。	一人ひとりの個性に合わせ、対応を考えているが、礼節は接遇の基本とし、声掛けや接する態度に注意し、プライバシーを損ねることのないように支援に臨んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	表情・行動等から何を訴えているのか？を見極め、利用者様を尊重して自己決定が出来る様、支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方に合わせ、耳を傾け、希望に沿った対応支援の実地に努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	季節・TPO等、清潔に配慮し出来ない所のお手伝い・声掛け・関わり等で支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	それぞれの利用者に合わせて使いやすい食器・盛り付けの工夫と、利用者の要望の時間に提供対応しています。	利用者と職員は同じテーブルで同じ食事を摂り、お互いに会話を楽しみながら、食事を支援している。職員の負担を減らすように食材の調達と献立は業者とし、利用者のお手伝いも含めゆっくりと楽しめる食卓となるよう努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分が苦手な利用者様には手作りゼリー等・関わりで工夫提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアの実地。出来る範囲でご本人に行って頂き、磨き残し等を関わっています。定期歯科往診は実地されている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し誘導・介助・見守りでの対応。離床・食前後に排泄の声掛け、誘導を行っている。	排泄はトイレで行う事を基本に取り組んでおり、どの様な形態であろうともトイレに誘導している。また乳製品や軽い運動も交えて、自然な排泄になるように努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表や個々の体調を考慮し、こまめな水分提供、お腹のマッサージ等を実践し処方された服薬等で予防対応しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	希望通りの入浴は困難ですが最低週2回は、湯船に入られる方、シャワー浴の方それぞれが、気持ち良かったと思って頂ける様、努めています。	週に曜日を2回指定し入浴を支援しているが、希望や必要に応じて他の曜日でも入浴に応じている。嫌がる利用者には無理強いすることなく、時間や担当者を変えながら、楽しいお風呂を目指して支援に臨んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調を職員全員で共有し状況に応じて休息して頂いている。リネン交換整理整頓・室温・換気・安否確認等は、昼夜問わず努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は個人ファイルに綴じられて、いつでも確認出来る様になっている。変更等は共有し、服薬時は職員間で声だし名前・日付の確認を実地している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ゲーム・歌・イベント食・外食・外出等様々な企画を、毎月最低1回は工夫し、気分転換のお手伝いをしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎月のイベントで外出に配慮し、数多く外気に触れて頂ける様努めています。	外出は毎月イベントとして設定し、閉じこもらない様努めている。他にも近所の散歩や散策、買い物も同行し、外気浴がたくさんできるように努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が乏しい利用者様が殆どの為、施設管理を含め、能力に合わせた対応が出来る様努めています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者様がいつでも訴えが出来る様、信頼関係を築き、都度、出来ない所の支援に努めています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは、季節感を感じられる工夫、行事の案内・写真・飾り付け等に配慮し、馴染みある歌や民謡の歌詞を取り入れ交流の支援に努めています。	建物全体はコンクリート製の骨太の造りで、大きな窓から陽光が差し込み、親しみのある居間や食堂を明るく包み込んでいる。温度や湿度も適切に保たれ、ゆったりと過ごせる工夫が感じられる共有の場となっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人一人が和み、思いのままの時間を過ごす生活が出来る様、居心地の良い空間作りに努めています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者様の妨げに成らないような物の配置や動線の確保に努めています。	居室の窓は大きく、四季の移ろいが自室で感じられる造りで、また自宅で親しんだ家具が持ち込まれ、家族の写真も飾られるなど、ゆったりとして過ごせるように、工夫が凝らされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの症状に合わせて、自立支援に向けて安心・安全な生活が出来る様努めています。		